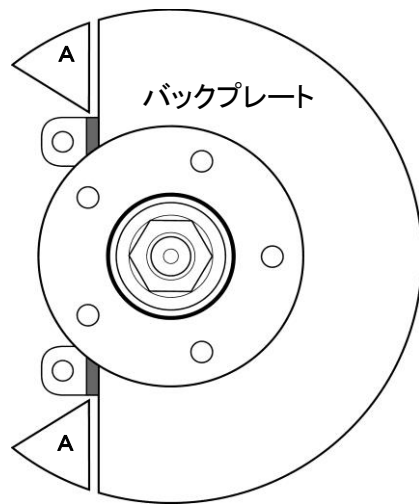


●JG3用FULLモノコックキャリパー取付ポイント

このたびは、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
この取付ポイントを参考に作業を進めて下さい。

○バックプレートの加工

バックプレートと干渉する『A』の部分はエアソー等で切り取って下さい。



○ボルト、ワッシャーの取付位置

写真①: キャリパーとブラケットの締結時は、付属の**専用ボルト/ワッシャー**を必ず使用して下さい。規定トルクで締める前に、ローターを回してクリアランスが均等である事を確認して下さい。

写真②: ブラケットとナックルの締結時は、**純正のキャリパー取り付けボルトを移植し、付属の1.6mmワッシャー**を使用して下さい。

キャリパーとブラケットの接続

写真①



ブラケットと車両の接続

写真②



●組み付けの手順と注意点

○ブレーキパッドの組み付け手順



ブレーキパッド裏側に付属のシムを黒、シルバーの順に装着します。
その際、付属のブレーキグリスを十分に塗布してください。

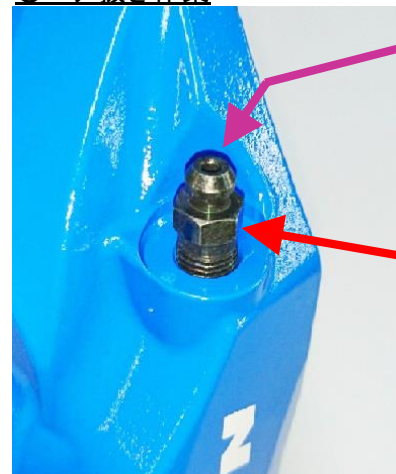


パッドスプリングを指で軽く押さえながら「A」ハンガーピン2本をパッドに通して差し込みます。



最後に「B」スナップピン2本を確実に差し込みます。

○エア抜き作業



ブリーダーボルト内の液が走行時に熱で出て来ますので、ブリーダー内部をブレーキクリーナーなどを使い十分に洗浄・脱脂してから走行して下さい。
ブリーダーからの少量の「液ニジミ痕」ならば問題はありません。

洗浄が不十分ですと塗膜剥がれの原因となります。

作業はブリーダーの締めすぎに注意して下さい。

冷間時にトルク9.8N・m(1.0kgf)厳守で慎重に作業をお願い致します。

過度な増し締めはブリーダーの挫屈やネジのアガリの原因ともなります。
細心の注意をお願い致します。